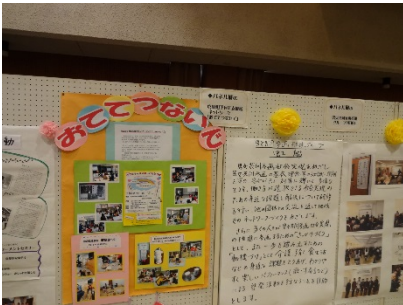


京田辺ふれあい夢フェスタに参加！

6月24日(日)、京田辺市立中央公民館で恒例の「京田辺ふれあい夢フェスタ」が開催されました。このフェスタは、京たなべ男女共同参画事業として毎年開催されているもので、“住む男女(ひと)きらり☆この街いいね！ 学んで 認めて 明るい未来”をキャッチフレーズに関係団体の人たちが趣向こらした各種舞台発表やパネル展示、体験ブース、手づくりふれあい市などを通して、男女共同参画社会の実現を目指した取り組みです。



パネル展示、体験ブース等



行政相談コーナー



京田辺観光大使 「一休さん」

京田辺市行政相談員としても、行政相談委員制度をPRできる絶好の機会ととらえ行政相談所を開設しました。当日は奥村・木下の両委員に加え、京都行政監視行政相談センターから谷尻様が参加、この日は湿度が高くうだるような暑さでしたが、早朝よりキティちゃんの啓発ポスターを掲示するなどブースづくりを行うとともに、ティッシュ、ボールペン、ファイル、相談開催日程表、メモ帳などを適宜セット物にして啓発活動に取り組みました。さらに、子どもたちに絶大な人気のあるハート型風船の参加は、相談ブースに華やかさを添えるとともに一層広報効果を高めたように思います。また、今回、初めての試みとして行政相談ベストを着用してのPR活動に挑戦しました。市民からは「行政相談員ってどんなことするの？」と声をかけられるなど、早々に着用効果を発揮することができました。



子供たちに風船を配る奥村委員（左）、木下委員(右)

今回も午前中を中心とした限られた活動時間でしたが、用意した100セット余りの広報物品も一つ残らず配布することができました。特に、今回はボールペンという新顔が参加、メモ帳とはもちろんのこと、従来からのティッシュやファイルとも相性抜群で、配布する私たち相談員にとっても手ごたえ感十分といったところでありました。

欲を言えば、この季節には水で濡らすだけでひんやりする「涼感クールタオル」も加われば、その活躍と効果はさらに期待できたのではないかと思います。来年度の検討課題としたいです。

今回の相談所開設は、京田辺ふれあい夢フェスタとの相乗り開催ということもあり、主に行政相談委員制度のPR活動に取り組みましたが、相談所となれば開所位置(場所)やブース形体のあり方など、まだまだ工夫、検討しなければならない点があるように思われます。

最後になりましたが、今回の取り組みが行政相談員としての活動だけでなく、明るいまちづくりのために男女が力をあわせて市民意識を高めるための一役になればと思っています。

(報告者：洛南地区HP委員 木下敏巳)